



### Q 施設の間借り対策は

山根 啓志 議員

### A 適宜、適切な判断で

市長

**Q** 高齢者の船賃助成廃止、出張所機能の縮小・廃止等、行財政改革が否応なく行われ、市民に相応のサービス低下を強いられている。そうした中で、JA施設の間借り、県合同庁舎の間借り等を検討すべきでは。

**A** 行政機関の配置は、空き施設の活用は観点だけでなく、行政の効率的執行、住民の利便性等、総合的に勘案。

**Q** JA施設の間借りは、JA施設は、合併協議会の中での主要事項であり、その経過も尊重し、適宜・適切な判断を下し、場合によっては移転も考えないといけない。しかし、今の段階では、市教委の拠点施設としたい。

**Q** 県合同庁舎・旧江能広域事務組合の跡地

**A** 県合同庁舎は、大柵支所の近隣施設とし、各種団体の活用も検討し、旧江能広域事務組合の施設は、未使用部分は国へ返還する。

▼ 旧江能広域事務組合



▲ 津久茂瀬戸



### Q 津久茂架橋の構想は

沖也 寸志 議員

### A 県と連携し要望する

市長

**Q** 国及び県の動きはどうか。

**A** 広島県知事も国土交通大臣をはじめ国の関係機関等に要請していただいている。

**Q** 国道487号線等の整備促進期成同盟会などを通じ、具現化について要望している。

**A** ハードルの高さが予想される架橋事業は、施策の重点化と関係機関との連携を図る。

**Q** 臨時職員・嘱託員の削減に対する今後の対応は。

**A** 退職者及び新規採用の今後の計画は、平成17年度から21年度まで525人を455人と70人を削減する見込み。正職員で対応し、スリム化に努める。



▲ 飛渡瀬地区の湿地帯



### Q 生活排水・下水道の整備は

野崎 剛睦 議員

### A 生活環境の改善に努める

市長

**Q** 県西部・江田島市における今後の同和問題と人権啓発は。

**A** 県西部において、人権啓発に大きく貢献されてきた西部人権教育啓発推進協議会の解消(平成18年3月31日)後は、諸事業を各市で継続する。

**Q** ISOの取得は、ISOの認定を取得しない方針に変わり

**Q** ISOとは  
環境と品質について、管理の方法や基準・評価方法などの統一を目的とした国際機関

▼ 人権の花運動



**Q** 飛渡瀬・江南地区は、低湿地帯で生活排水等で困っている。両地区の下水道は、いつ頃整備されるのか。

**Q** 江南地区の小学生は、同じ地域にある飛渡瀬小学校に通学指定の変更をしては。

**A** 市教育委員会による通学指定の変更は、児童の教育環境の急変になりできない。当面は、保護者からの学校希望選択による指定校変更制度の弾力化を図る。本件は、5年以内に児童数の推移をみて検討さ

れる第二次学校統合の件ともリンクして考える。